

J P A 事務局ニュース <No. 36> - 2011 年 12 月 28 日----->>>

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会（J P A）事務局
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28 飯田橋ハイタウン 610 号
TEL03-6280-7734 FAX03-6280-7735 jpa@ia2.itkeeper.ne.jp
J P A ホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

☆来年度予算政府案、24 日に閣議決定

来年度（2012 年度）予算政府案は、24 日の閣議で決定されました。

一般会計総額は 90 兆 3339 億円、うち厚生労働省関係予算は 26 兆 6873 億円（対前年比 7.9%マイナス）となっています。

財務省 平成 24 年度予算政府案のページ

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2012/seifuan24/index.ht

厚生労働省 平成 24 年度厚生労働省所管予算案関係のページ

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/12syokanyosan/>

厚生労働省各課ごとの予算案は、J P A ホームページに掲載しました。

<http://www.nanbyo.jp/>

健康関係では、肝炎対策 239 億円、がん対策 357 億円、難病対策 2132 億円（他局計上分も含む）、生活習慣病対策 30 億円、リウマチ・アレルギー対策 5.9 億円、腎疾患対策 2.4 億円、慢性疼痛対策 1.2 億円、他となっています。

B 型肝炎訴訟の給付金等の支給予算が新規で 345 億円ついています。

疾病対策課予算は 358.4 億円（前年比 24.3%増）、難治性疾患克服研究事業 80 億円、健康長寿社会実現のためのライフ・イノベーション（難病分）20 億円で、研究予算は 100 億円を確保しました。医療費の負担軽減分として特定疾患治療研究事業は 350 億円（280 億円）。概算要求からさらに 50 億円上積みされました。難病相談・支援センター事業、難病患者等居宅生活支援事業等は前年同額です。新規事業として難病患者の在宅医療・介護の充実（4500 万円）、難病対策の国際的連携（150 万円）が計上されました。

また、昨年の税制改正で行われた年少扶養控除の廃止等による地方財政の増収分の対応の一部を特定疾患治療研究事業の地方の超過負担の財源として活用（平成 24 年度暫定的対応、269 億円）されることになりました。これで地方超過負担は来年度はかなり改善されますが、特定疾患治療研究事業の自然増は 100 億円（国負担分）と見込まれており政府案でもまだ 30 億円足りない計算になります。

小児慢性特定疾患治療研究事業は129億5000万円（127億9100万円）。小児慢性特定疾患児日常生活用具給付事業4600万円（4600万円）、小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング事業105億1000万円（98億7100万円）。

障害保健福祉部予算は総額1兆3045億円（1兆1815億円）の10.4%増。

障害福祉サービス7434億円（6342億円）、地域生活支援事業450億円（445億円）、自立支援医療2057億円（1991億円）となっています。懸念されていた、来年3月までの経過措置（育成医療の中間所得層負担上限措置、重度かつ継続の上位所得層の負担上限措置）は、ともに延長されることがわかりました。

一方で、「基本合意」の重要事項である自立支援医療の低所得者負担の無料化は「引き続き検討」として事実上来年度も見送られることになりました。

特別児童扶養手当、特別障害者手当額については、年金と連動しているとして「本来の水準に引き下げる」としています。（2012年10月から0.6%引下げ）

医薬関係では、新規予算として、「技術の進歩に対応する薬事承認審査・安全対策の向上」予算が20億9300万円計上されています。安全性・有効性の評価法の確立と人材育成（12億円）、薬事承認審査の迅速化に必要なガイドラインの作成に向けた研究の推進等（3.7億円）、安全対策の強化（3.5億円）、生産・流通のグローバル化への対応（1.8億円）など。新規事業として国内未承認薬・適応外薬審査迅速化事業費（8700万円）、抗HBs人免疫グロブリン製剤の国内自給の推進（1200万円）が計上されました。

☆民主党障がい者ワーキング内難病対策小委員会（玉木朝子委員長）第6回が開催され、難病対策予算（山本疾病対策課長）、小児慢性特定疾患対策予算（泉母子保健課長）、雇用支援関係予算（丸山障害者雇用対策課地域就労支援室長）からそれぞれヒアリングが行われました。

説明資料をJPAホームページにアップしますので、予算資料とあわせてごらんください。

○患者サポート事業相談・交流室

土日も利用可（事務局にご相談ください）

相談専用 電話 03-6265-0791（平日10時～17時）FAX 03-6265-0792

利用日等のご相談は、JPA事務局まで。

○JPA震災募金について

東

日本大震災の震災募金は、多くの疾病団体や難病連での取り組みがすすめられています。取り組めない団体や「被災地の難病連に直接届けてほしい」と寄せられた募金を、JPAで預かります。

第一次分として、岩手、宮城、福島の各難病連にそれぞれ10万円づつを支援金として届けました。

今後も引き続き受け付けます。送金は下記まで。

<振込口座>

* ゆうちょ銀行からの振込みの場合

記号：10010

番号：718821

名前：社) 日本難病・疾病団体協議会

* ゆうちょ銀行以外の金融機関からの振込の場合

振込機関：ゆうちょ銀行

店名：〇〇八（読みゼロゼロハチ）

預金種目：普通預金

口座番号：0071882

名前：社) 日本難病・疾病団体協議会

* このメールは、BCCにてJPA加盟・準加盟組織、役員等に活動に役立つニュースを不定期に配信します。メールアドレスのない加盟組織については、FAX、メール便にて配送します。送信もれ、または各組織で配信希望の役員がいる場合は、事務局までご連絡ください。

(追加、訂正、削除などは事務局まで連絡をお願いします。)

(JPA事務局長・水谷幸司)